

第16回全日本ホルスタイン共進会 10年ぶりに開催、全国から400頭 10月25～26日、北海道安平町で



一般社団法人日本ホルスタイン登録協会

1 共進会に特化した大会を目指す

いよいよ、10月25～26日の2日間、北海道ゆふつ勇払郡安平町の北海道ホルスタイン共進会場において第16回全日本ホルスタイン共進会（以下「全共」という）が開催される。

全共は、乳牛が健康で長持ちするために必要な体型の改良度合いを比較展示するために、おおむね5年に一度、各都道府県を代表するホルスタイン種の牛を一堂に集めて開催してきた。また、前回大会からジャージー部門を新設した。

今回の北海道大会は、2020年に開催予定だった第15回九州・沖縄大会が、新型コロナウイルス感染症の拡大によってやむなく中止になったため、前々回の第14回北海道大会から実に10年ぶりの開催になる。

今回の全共は、昨今の厳しい酪農情勢下で、出品者および出品都道府県の負担をできるだけ軽減するために、常設施設の有効利用と開催期間の短縮、式典などの付帯・協賛行事の簡素化などによって、共進会に特化したコンパクトな全共を目指している。

2 全共70年あまりの歴史

表1には、過去の全共開催状況を示した。第2次世界大戦後の復興も間もない1951年に神奈川県平塚市で、昭和天皇の行幸を仰いで

第1回全共を開催して以来、全共は、国内の酪農主要道県などで計13回開催され、70年あまりの歴史を持つ。61年の第3回長野大会では当時の皇太子殿下（現上皇）ご夫妻の台覧の下、小岩井農場出品牛が経産名誉賞に輝いた。70年の第5回愛知大会では、酪農好景気のさなか、全国から52万人が来場し、北海道・宇都宮牧場が2度目の経産名誉賞を獲得した。

81年の第7回群馬大会においては、ホルスタイン種では珍しい赤白班牛が経産名誉賞に輝いた。90年の第9回熊本大会は九州初の全共開催となり、沖縄県からも初出品があった。同大会では、北海道・植田牧場が第8回に続き2回連続で名誉賞を獲得した。2000年の第11回岡山大会の最高位は、第9回名誉賞牛の受精卵移植による生産娘牛であった。また、ジャージー全共が16年ぶりに同時開催された大会でもあった。

2015年の第14回大会は、北海道で初開催となり、過去最多となる374頭が出品された。この回から高等学校特別枠を設置して高校生などを対象とした「ジャジング&リードマンスクール^(注)」などの酪農後継者育成プログラムも開催し、好評を博した。

(注) ジャジングスクールは牛の見方（体型の良否）、リードマンスクールは牛の引き方の勉強会。また、この後には高校1・2年生と3年生の2クラスでリードマンコンテストも開催する。これらは北海道アルバータ酪農科学技術交流協会との共催。

表1 全日本ホルスタイン共進会の開催状況

回数	年次	開催県	参加都道府県	出品頭数	主な概要
第1回	1951(昭26)	神奈川県	30	157	昭和天皇行幸。戦後復興下で30都道府県から157頭出品
第2回	1956(昭31)	静岡県	36	200	5年間で国内の乳牛飼養頭数が倍増。父系牛群の部を新設
第3回	1961(昭36)	長野県	42	226	皇太子殿下(現上皇)ご夫妻台覧。小岩井農場出品牛が経産名誉賞に
第4回	1966(昭41)	福島県	42	278	出品牛に能力条件を付す。町村農場が2度目の経産名誉賞に
第5回	1970(昭45)	愛知県	44	295	酪農好景気で52万人が来場。宇都宮牧場が2度目の経産名誉賞に
第6回	1975(昭50)	兵庫県	44	291	西日本で初開催。乳器の部を新設。西倉牧場が経産・未経産名誉賞に
第7回	1981(昭56)	群馬県	46	298	赤白斑牛(レッド)が初の名誉賞に。名牛クリスタンの娘牛多数出品
第8回	1985(昭60)	岩手県	44	297	岩手産業文化センターで開催。常陸宮殿下ご夫妻台覧。多回検定の部を新設
第9回	1990(平2)	熊本県	45	293	九州で初開催。沖縄県が初出品。植田牧場が2回連続で経産名誉賞
第10回	1995(平7)	千葉県	45	298	日本の乳牛発祥地・千葉県で開催。過去最高の84万人が来場
第11回	2000(平12)	岡山県	44	297	最高位牛は第9回全共名誉賞牛のET娘牛。ジャージー全共を同時開催
第12回	2005(平17)	栃木県	44	303	後代検定娘牛の展示・出品。高校生を対象に牛の見方講習会開催
第13回	2011(平23)	(東日本大震災発生により中止)			
第14回	2015(平27)	北海道	42	374	北海道で初開催。過去最多374頭が出品。酪農後継者育成プログラムが好評
第15回	2020(令2)	(新型コロナウイルス感染症拡大により中止)			

資料：一般社団法人日本ホルスタイン登録協作成

3 20クラスで審査、最高位はどの牛に

今大会には、ホルスタイン種雌牛16部368頭(未経産6部、経産10部)とジャージー種雌牛4部32頭(未経産2部、経産2部)の合計20部400頭が出品される。ホルスタイン種

は一般枠13部のほかに、Jサイア(後代検定種雄牛)娘牛枠3部、高校特別枠20校(各月齢の部に出品)で構成される。

また、表2には共進会日程を示した。10月25日(第1日目)は、朝8時の開会宣言後に各部の審査を開始する。午前中はホルスタイン種

表2 第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会の行事日程

1. 開催日時・場所	
(開催日) 2025(令和7)年10月25日(土)、26日(日)の2日間	
(共進会) 北海道ホルスタイン共進会場(北海道勇払郡安平町早来新栄)	
2. 行事日程	
(共進会) 共進会審査会場・係留牛舎	
10月20日(月) 午後～ 10月24日(金) 正午	出品牛搬入
10月25日(土) 朝8時～ 午後	開会宣言(開会式は第3部開始後) ホルスタイン種未経産(第1～6部)審査、名誉賞決定 ホルスタイン種経産(第7～13部)審査、名誉賞決定
10月26日(日) 朝8時～	ジャージー種(第17～20部)審査、名誉賞決定 ホルスタイン種経産(第14～16部)審査、名誉賞決定 高校出品牛日本一:ハイスクール・ディリー・グランプリ 決定審査 最高位賞決定審査 褒賞・閉会式
10月26日(日) 午後～ 10月27日(月) 午前	出品牛搬出
(付帯・協賛行事) 共進会場ほか	
10月23日(木)～ 10月26日(日)	酪農資材器具展/技術交流会
10月24日(金) 午後	後継者育成プログラム ・ジャジング&リードマンスクール ・リードマンコンテスト
10月25日(土) 昼 夜	全共多回出品者表彰式(第6部終了後) ゴールドデン・ナショナルセール 北海道ジュニアホルスタインクラブ交流会 第16回全共開催記念パーティー

資料：一般社団法人日本ホルスタイン登録協作成

未經産第1～6部の各部審査と名誉賞決定審査、午後には同経産（2・3歳級）第7～13部の各部審査と名誉賞決定審査を行う。特に2歳級は出品頭数が多いことから、第7部（Jサイアの2歳娘牛）、第8部（2歳ジュニア）、第9部（同ミドル）、第10部（同シニア）の計4部編成とし、これまでの全共に例のない大変見応えのある審査が期待される。

10月26日（第2日目）午前中は、ジャージー種未經産・経産第17～20部の各部審査と名誉賞決定、次いでホルスタイン種経産（4歳以上）第14～16部の各部審査と名誉賞決定審査が行われるが、特に成牛部門の充実した体型は大変注目されるどころだ。最後に、各部門の名誉賞牛の中から今大会の最高位牛が決定される。正午過ぎには内閣総理大臣賞などの表彰式を行い、閉会式をもって第16回全共北海道大会の全日程を終了する。

4 高校日本一と後継者育成プログラム

国内で乳用牛を飼養する高等学校には、「高等学校特別枠」として20校20頭の出品枠を割り当て、出品料を免除している。高校出品牛の中から共進会長特別賞を選出し、さらに10月26日の全共最高位決定審査の前に、高校出品牛日本一となる「ハイスクール・ディリー・グランプリ」を決定する。

また、審査開始前日の10月24日には、酪農学園大学と共催で高校生などを対象とした後継者育成プログラム「ジャジング&リードマンスクール」と「リードマンコンテスト」を開催する。

さらに、今大会の付帯・協賛行事として、会期中には酪農資材器具展・技術交流会を、10月25日夜には第16回全共記念パーティーを開催する。

第16回北海道大会を全国からの出品者や酪農関係者、酪農関連企業などの情報・技術の交流と親睦の場として、乳牛改良や繁殖、飼養管理などの最新技術の知識を学び、今後の酪農への意欲と元気を大いに高めてほしいと考えている。

【プロフィール】

栗田 純（くりた じゅん）

北海道札幌市出身

一般社団法人日本ホルスタイン登録協会専務理事

1976年 帯広畜産大学畜産学部卒業

同年 社団法人日本ホルスタイン登録協会入会

94年 体型審査委員

2003年 調査部長

09年 登録部長

11年 事務局長

16年 専務理事に就任し現在に至る

2007年世界ホルスタインフリージアン連盟体型審査ワーキンググループ委員、16年から同連盟評議員を務める。

